

なりた エコ ニュース

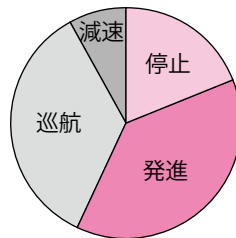
エコドライブは 発進がポイント

意外に思うかもしれませんが、車を使う燃料のうち、約40%は発進時に使われているという調査結果があります。

信号や渋滞などの状況で多少のばらつきはありますが、普通に走っている状態(巡航)で約35%、停止時で約20%の燃料が使われます。



走行状態別の
燃料消費量の割合



出典：省エネルギーセンター資料

エコドライブ(環境に配慮した運転)をすれば、使う燃料の約26%を節約でき、そのうち約40%は、発進時に節約できるとわれています。

発進のポイント

発進時のエコドライブのポイントを紹介します。

①一呼吸おいて発進

○オートマ車はクリーブ現象(アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動く現象)を確認してから

②5秒で20km/hを目安に

○ノロノロ発進ではなく、ふんわり発進

○5つ数えたらスピードメーターでチェック(メーターを見ながらは危険です)

○その後も急加速はせず、徐々に適正速度に

発進時のエコドライブのほかにも、停止・巡航・減速でそれぞれエコドライブのポイントがあります。できる限り電車、バスなどの公共交通機関や自転車、徒歩で移動するのが一番ですが、車を運転する際は、エコドライブを心掛けましょう。エコドライブは安全運転にもつながります。

※くわしくは環境計画課(☎20-1533)へ。

消費生活 相談

Q&A

ライターの火遊びによる 火災に注意



Q 最近、ライターの火遊びによる火災が報道されていますが、家庭ではどのようなことに注意したらいいのでしょうか。

A 子どもの火遊びによる火災のうち、ライターによるものが半分以上にのぼります。特に5歳未満の子どもが火遊びをした場合、死傷する可能性が高くなっています。

注意事項

- 子どもの手の届くところにライターを置かない
- 子どもにライターを触らせない
- 子どもがライターで火遊びしているのを見かけたら、すぐに注意してやめさせる
- 理解できる年齢になったら、子どもに火遊びの危険性を教える

今後は、子どもが簡単に操作できない対策(チャイルドレジスタンス機能)を施したライターでないと販売できない規

制が導入されます。チャイルドレジスタンス機能は、子どもの力では押せないように着火スイッチを重くしたり、ストッパーなどの安全装置を組み込んだもので、すでに規制導入に先行して販売されています。

規制に関する情報は経済産業省ホームページ「製品安全ガイド(http://www.meti.go.jp/product_safety/)」をご覧ください。

また、不用なライターは使い切るかガス抜きをして、上部の金具部分は「金物・陶磁器類」に、下部のプラスチック部分は「ビニール・プラスチック類」に分別して(下総・大栄地区では金具部分は「不燃ごみ」、プラスチック部分は「可燃ごみ」として)捨てましょう。

ガス抜きに関する詳細は、日本喫煙具協会ホームページ(<http://www.jsaca.or.jp/info/throw.html>)をご覧ください。

※くわしくは消費生活センター(☎23-1161)へ。